

日本生産管理学会 北海道 支部 (正規) 任意) 研究会 活動報告 (○印)

研究会名	エルゴマ部会
------	--------

年 度	研 究 概 況 と 成 果・公 表	報 告
第 1 年度 西暦 2002 年	活動期間 : 2002 研究内容: <u>エルゴマ手法を用いた生産職場の改善研究 (I)</u> 研究成果及び公表: 日本生産管理学会 「高齢化対応型酪農用機器製造ラインづくりへの実践」	2002 年 8 月 ____ 日 報告責任者 <u>飯田憲一他</u>
第 2 年度 西暦 2003 年	活動期間 : 2003 研究内容: <u>エルゴマ手法を用いた生産職場の改善研究 (II)</u> 研究成果及び公表: 第 10 回台湾人間工学会インターナショナルセッション 「The Importance of Sustainable KAIZEN - A case of A concrete-production manufacturer-」	2003 年 3 月 ____ 日 報告責任者 <u>三上行生</u>
第 3 年度 西暦 2004 年	活動期間 : 2004 研究内容: エルゴマ手法に使用される改善のための支援システムの開発 研究成果及び公表: 日本生産管理学会誌 “生産管理” 「Web を活用した職場支援システムの開発」	2004 年 10 月 ____ 日 報告責任者 <u>飯田憲一他</u>
終了報告 まとめと 今後の展開 など	1) エルゴマ部会のメンバーが中心となって開発した「Web を活用した職場支援システム」を用いて行った改善研究事例を、 2005 年 3 月の生産管理学会にて発表した。 発表テーマ: <u>高齢化対応型職場づくりのための”作業改善支援システム”の活用事例</u> 2) 今後の展開: エルゴマ手法を、現場監督者・生産管理者に教育し、現場での展開に取り組んでもらい、そのサポート及びそこから得られた結果を更に公表し道内ものづくり企業の改善活動に寄与する。	2005 年 3 月 ____ 日 研究会代表者 <u>三上行生</u>